

☆老人福祉センターは市内在住の60歳以上の皆さんがご利用できる施設です☆

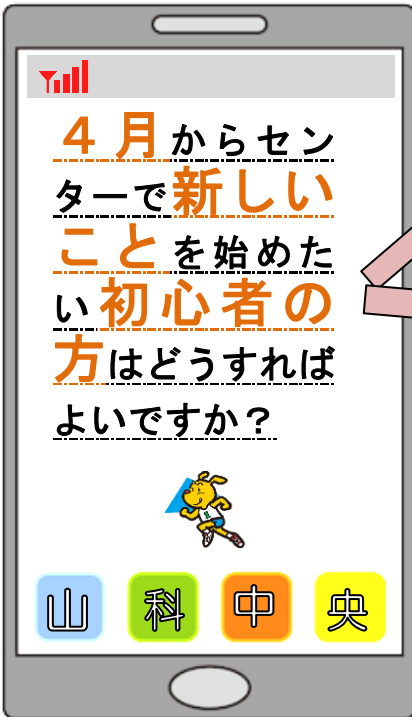
きらめき

平成30年

2月号



社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
京都市山科中央老人福祉センター
〒607-8344 京都市山科区西野大手先町 2-1
山科総合福祉会館 2階
【電話】501-0242 【FAX】501-0340
【E-mail】r-yamashinachuo@kcsw.jp
【ホームページ】<http://sukoyaka.hitomachi-kyoto.jp/yamashinachuo.html>
【開所日・時間】月曜日～土曜日（祝日除く）・9時～17時
1月19日発行（毎月第3金曜日発行）



『半年間の教養講座（センター主催）』を申し込む

センターでは4月から初心者を対象とした半年間の講座開催を予定しています。

【内容（予定）】民謡、ストレッチ体操（指導者養成を含む）
囲碁、将棋 ※囲碁は3か月間
詳細は「きらめき3月号」に掲載します。



『初心者同好会』を申し込む

初心者を対象とした同好会が立ち上がる予定です。

【内容（予定）】健康マージャン、ウクレレ、コーラス、編み物、太極拳
健康ダンス、社交ダンス、卓球

※日程などの詳細は2月上旬にセンター事務所前に設置する「同好会案内」をご覧ください。

【申込】2月13日（火）～3月2日（金）

センター設置の申込用紙に記入の上、来所にて受付

既存の同好会（約20種類）に入会希望の方は



既存の同好会には、会員を“年間随時受け付ける同好会”と“年1回の公募する同好会”の2種類があります。（上記記載の「同好会案内」で確認することができます。）
また、年1回の公募する同好会の申込日程は初心者同好会の申込日程と同じです。



2月はうたごえサロンが2回もあるね♪

新しい企画もあって、楽しみだね！



『うたごえサロン』

2月10日（土）

午後1時30分～3時頃

ピアノとギターの生演奏で
みんなと一緒に歌います。

演奏：京都ピアノとうたの音楽ひろば
上平 知子さん 重吉 和久さん

定員：70人

申込：1月26日（金）～
2月2日（金）

※多数の場合抽選



『朝から元気に うたごえサロン』

2月22日（木）

午前9時30分～11時頃

アコーディオンの生演奏でみんなと一緒に
歌います。さわやかな1日のはじまりに
いかがですか♪

演奏：京都ピアノとうたの音楽ひろば
青木 実さん（通称：あお爺）

定員：70人

申込：2月8日（木）～2月15日（木）

※多数の場合抽選



『初めてのフラダンス』

2月21日(水)

午後1時30分～3時頃

経験の無い方を対象としたお試しフラダンスです。簡単なフラダンスの振り付けを覚えみんなで一緒に踊ります！



講師：村中 なみ さん

定員：30名

申込：2月1日(木)～

2月13日(火)

※多数の場合抽選

『そうだったのか！？百人一首』

2月23日(金)

午後1時30分～3時30分頃



知られていない百人一首の裏側をお話しします。これで、百人一首の見方が変わるかもしれない…。

指導：上村 俊一さん

定員：20名

申込：2月9日(金)～ ※先着順

『おひなさまのちぎり絵講座』

2月26日(月)

午後1時30分～3時頃



ちぎる・切る・貼るの簡単製作。おひなさまののちぎり絵を作りましょう！

指導：川勝 よ志子さん

(サークル講師)

定員：20名 材料費：650円

申込：2月7日(水)～

2月16日(金)

※先着順

第10回 京都市域老人福祉センター

交流発表会

～多彩な分野のサークルが交流～

京都市内の老人福祉センターで活動する様々なサークルが集結し、歌や演奏、踊りなど発表を行います。

日時：2月3日(土)

開場：12時 開演：12時30分

場所：ひと・まち交流館 京都 大会議室

当センターから

太極拳同好会
が出演！



出演予定時間

午後1時05分～1時15分

12月28日(木)午後
センター大掃除をしました。
ご協力くださった方々、ありがとう
ございました。



Breeze (そよ風)

～第1回やまちゅうチャリティバザー 終了のお礼とご報告～

去る1月13日、新たな事業として「第1回やまちゅうチャリティバザー」を開催しました。何分初めての試み、提供品は集まるだろうか、当日はお客様がいらっしゃるだろうか、不安で一杯のうちに当日を迎えました。

果たして???

天候に恵まれた当日は、早くから大勢の方々にお越しいただき、状態の良いお品から飛ぶように売れていきました。

皆様から寄せられた善意のお品は、長い間大切に保管されてきたであろうものが多く、「始末」の精神を重んじてきた京都の先人たちの心が、現代にもしっかりと息づいていることを深く感じさせるものでした。



バザーの開催経験豊かな方からのアドバイスも得て、お手軽な販売価格を設定した結果、約700点の提供品のうち残品はわずかしかなく「初回としてはますます」とほっとしています。

収益金の17,400円は、皆様にお知らせしたとおり全額を(公財)日本ユニセフ協会へ寄付するため、現在、振込手続きを行っております。わずかな寄付金かも知れませんが、著名な社会奉仕団体が主催する大きなバザーでもなく、価値ある骨董品の市場でもない、あくまでやまちゅう老センの「身の丈に合った」バザーとして終了できたことを嬉しく思います。ご家庭で眠っていた日用品は再び生命を与えられ、子どもたちの幸せのため貢献でき、そしてお品を提供くださった皆様の「老いたく」にも少しは役立った「三方よし」のチャリティバザー、これからも地道に継続していきたいと思っております。

開催にあたりご協力いただいた全ての皆様に厚くお礼申し上げます。